

発表番号 セッション1 6月13日 口頭発表 09:45~11:00

- S1-01 自然由来重金属に対するスクリーニング試験結果の傾向  
○嶋将志・今田真治 (エイト日本技術開発)
- S1-02 自然由来鉛汚染土壌の溶出特性  
○張 銘・星野美保子 ((独)産業技術総合研究所)・大田昌昭・秋田憲・長曾哲夫 (㈱島津製作所)
- S1-03 MgO系材料を用いた吸着層工法の母材に関する基礎的検討  
○野崎隆人・松山祐介・杉山彰徳・守屋政彦 (太平洋セメント㈱)・小向雄人・長瀬孝宏 (㈱太平洋コンサルタンツ)
- S1-04 酸化鉄系材料によるSe(VI)処理方法の検討(第3報)  
○土光政伸・平井恭正 (石原産業株式会社)
- S1-05 温泉排水中に含まれるフッ素吸着資材の廃棄物からの探索  
○羽田彩友子・加藤雅彦 (岐阜大学工学部)・寺尾宏 ((財)岐阜県環境管理技術センター)・佐藤健 (岐阜大学工学部)
- S1-06 6価クロムとVOC(TCE)複合汚染をバイオレメディエーション(乳化した植物油)で浄化した事例(ベンチ試験、現場パイロット試験)  
○Dick Raymond・Mike Lee (米国Terra Systems,Inc.)・茅野徹 (米国Pacific Rim Services)
- S1-07 中層混合処理工法による不溶化事例  
○大住学・菱沼一充・押山淳一 (小野田ケミコ株式会社)・守屋政彦・松山祐介 (太平洋セメント株式会社)
- S1-08 自動化したボルタンメトリ法の装置による環境モニタリング  
○藤川陽子 (京都大学原子炉実験所)・ポール ルータス (Edith Cowan 大)・谷外司 (東洋瀧水)
- S1-09 環告19号含有試験法では困難であった金属シアノ錯体の分析検討と、連続流れ分析への応用  
○熊澤頼博・埜村朋之 (ビーエルテック 株式会社)・今安英一郎 (新日鉄住金エンジニアリング 株式会社)
- S1-10 カラム試験とシリアルバッチ試験によるAs溶出挙動の把握  
○下村卓矢 (ジオテクノス株式会社)・森本聡 (エコシステム花岡株式会社)・千田善秋 (ジオテクノス株式会社)・川上智 (DOWAエコシステム株式会社)
- S1-11 地下水汚染地層の連続深度別濃度の把握  
○井上章・小林孝洋 (株式会社マルイ)
- S1-12 ベンゼンおよびトルエンを分解する嫌気微生物集積培養系の確立  
○舛本弘毅 (東京大学工学系研究科都市工学専攻水環境制御研究室)・栗栖太 (東京大学工学系研究科附属水環境制御研究センター)・春日郁朗 (東京大学工学系研究科都市工学専攻水環境制御研究室)・古米弘明 (東京大学工学系研究科附属水環境制御研究センター)
- S1-13 嫌気微生物による塩素化エチレン浄化に対する温度の影響  
○伊藤雅子・高畑陽 (大成建設株式会社技術センター)
- S1-14 過硫酸によるVOCsの分解性評価  
○小川 えみ・和知剛・草場周作 (株式会社アイ・エス・ソリューション)
- S1-15 触媒酸化法によるVOCsの迅速分解  
○山口和久・阿部直人 (環境テクノ株式会社)・伊藤浩 (東急建設株式会社)
- S1-16 好気性バイオレメディエーションにおける低濃度アセチレンガススパージングによる硝化抑制の検討(第2報)  
○榎本幹司・上野俊洋 (栗田工業株式会社)

- S1-17 油汚染土壌のファイトレメディエーションに適する日本シバの選抜  
○大志万浩一・日下部友昭・植田直人・佐藤裕隆 (住友林業株式会社)
- S1-18 埋設農薬 POPsの簡易分析法  
○中條邦英 (応用地質株式会社 エンジニアリング本部 コアラボ試験センター)
- S1-19 濁水回収ノズルを用いた水による土壌攪拌・除去技術の除染効果  
○奈良部善之・鎌田雅美・友口勝 (DOWAエコシステム株式会社)・奥島修二・中達雄・今泉眞之 (独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所)
- S1-20 放射性Cs汚染土壌中の粗粒子分の含有放射エネルギーとその浄化  
○馬場直紀・毛利光男・土田充・保坂幸一・中嶋卓磨 (清水建設株式会社エンジニアリング事業本部土壌環境事業部)
- S1-21 植物由来の放射性セシウム含有排水処理技術の基礎的検討  
○緒方浩基・千野裕之 (株式会社大林組 技術研究所)・八塩晶子 (株式会社大林組 原子力本部)・井出一貴 (株式会社大林組 技術研究所)
- S1-22 遮水シート・柔軟性薄膜太陽電池一体システムの適用事例  
○前川統一郎 (国際環境ソリューションズ(株))・西辻信利 (オー・ジー(株))・渡部直人 (シーアイ化成(株))・斉藤栄一 (株式会社安藤・間)・吉原昌宏 (国際環境ソリューションズ(株))
- S1-23 ISO/TC190 (Soil Quality: 地盤環境)の活動ー2012年度の審議状況ー  
○浅田素之・川端淳一・中島 誠・ISO/TC190部会 (土壌環境センター)
- S1-24 ISO/TC 190(地盤環境)で規格化されている溶出試験について  
○倉倉宏史 (国立環境研究所)・川端淳一・ISO/TC190部会 (土壌環境センター)
- S1-25 重金属汚染土壌の措置手法に対するLIME2による外部環境影響の統合評価  
○保高徹生・張紅 (産業技術総合研究所)

**発表番号 セッション2 6月13日 口頭発表 13:30~14:50**

- S2-01 温度変化が間隙水組成および土壌中重金属の存在形態に与える影響  
○栗原由衣 (埼玉大学理工学研究科)・濱本昌一郎・川本健・小松登志子 (埼玉大学理工学研究科・埼玉大学環境科学研究センター)
- S2-02 河川底質中における自然由来鉛及び砒素の化学的特徴  
○高階義大 (三菱テクニカ株式会社)
- S2-03 多機能盛土における降雨浸透抑制に関する実証実験(II)  
○安藤彰宣 (旭化成ジオテック)・伊藤洋 (北九州市立大学)・大石徹 (日鉄住金環境)・松尾俊和 (泉商会)
- S2-04 ほう素汚染土壌の水洗浄における温度の影響  
○三浦英俊・横山圭一・山野賢一 (ジオテクノス株式会社)・友口勝・千田善秋 (DOWAエコシステム株式会社)
- S2-05 原位置通水洗浄によるシアン汚染地下水の浄化  
○西川直仁・緒方浩基・藤井治彦・西田憲司 (株式会社大林組技術本部)・桐山久 (東邦ガス株式会社企画部)
- S2-06 酸化マグネシウムによるフッ素汚染土壌の不溶化に関する研究  
○中村哲・鈴木祐麻・新苗正和 (山口大学)・中田英喜・藤井啓史・田坂行雄 (宇部興産 (株))

- S2-07 鉄酸化物分別溶解法を適用した地下水砒素汚染メカニズム解析手法の検討  
○石山高・八戸昭一・濱元栄起・白石英孝・細野繁雄(埼玉県環境科学国際センター)
- S2-08 東京都条例の届出情報を用いた重金属等の含有量と溶出量の関係解析  
○星純也・高橋真子・椎根大・上野孝司(公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)
- S2-09 大気へ排出された鉛の沈着による土壌汚染の可能性の検討  
○小林剛・李世明・上田裕之・久保寺良光(横浜国立大学大学院環境情報研究院)・高橋ゆかり(横浜国立大学大学院環境情報研究院・富山国際大学現代社会学部)・劉予宇(東北大学理学部)
- S2-10 既設観測井戸における深度別不攪乱採水の有効性について  
○瀬野光太(国際環境ソリューションズ株式会社)・井上章(株式会社マルイ)・伊藤哲緒・佐藤徹朗(国際環境ソリューションズ株式会社)
- S2-11 零価鉄-遅効性炭素源による地下水中有機塩素化合物処理のフィールド試験  
○王寧(日本株式会社環境管理センター)・李書鵬・劉鵬(中国北京建工環境修復公司)・杜曉明(中国環境科学院)
- S2-12 高濃度酸素水を用いた原位置バイオ工法の適用事例  
○大橋貴志・片岡昌裕・宮崎一郎・渡辺徹(株式会社NIPPO)
- S2-13 汚染地下水の浄化効率向上と地中熱利用に関する基礎的検討  
○山本千絵・稲田ゆかり・藤城春雄(清水建設(株) エンジニアリング事業本部)・田崎雅晴・鈴木道哉(清水建設(株) 技術研究所)
- S2-14 地下水汚染の拡大の防止のための効果的な揚水井戸配置の検討  
○上田剛・小西孝明・鈴木圭一(パナソニック環境エンジニアリング株式会社)
- S2-15 亜熱帯地域の油汚染土壌における微生物叢解析の検討  
○廣瀬(安元)美奈・大城要平・宮城雄次・久手堅剛・渡嘉敷唯章(㈱トロピカルテクノセンター)
- S2-16 粘性土を対象とした油含有土壌による油臭・油膜問題への対応  
○福武健一(㈱大林組エンジニアリング本部)・三浦俊彦(㈱大林組技術研究所)・西田憲司・日笠山徹巳(㈱大林組エンジニアリング本部)
- S2-17 ガソリンスタンド跡地の浄化対策等作業時の臭気管理手法の一案  
○堀内栄伸・和知剛(㈱アイ・エス・ソリューション)
- S2-18 土壌ガス捕集バッグの再使用に係る洗浄方法についての検証  
○笹田直己・田中保孝(地盤環境エンジニアリング株式会社)
- S2-19 土壌中有機汚染物質の網羅的分析法の開発  
○宮脇崇・飛石和太(福岡県保健環境研究所)・門上希和夫(北九州市立大学国際環境工学部)
- S2-20 蒸発促進による土壌中セシウム回収方法に関する基礎実験(I)  
○立元陽子・伊藤洋(北九州市立大学 大学院)
- S2-21 放射性セシウム含有土壌の加熱処理に関する基礎検討  
○大山将・中島卓夫・松生隆司(㈱鴻池組)
- S2-22 モニタリング井戸に使用する井戸材の選定  
○佐藤秀之・横溝透修(株式会社ランドコンシェルジュ)
- S2-23 臭素酸の土壌への吸着特性に関する基礎的検討  
○颯田尚哉・立石貴浩・草刈裕佳・宮野幸子(岩手大学農学部)・小林幹佳(筑波大学生命環境系)
- S2-24 ふっ素汚染サイトの原位置浄化対策における事前検討事例  
○太田綾子・根岸昌範・岩崎広江(大成建設株式会社)

S2-25 生態毒性に関するISO規格化の動き

○石川洋二・川端淳一・中島誠・ISO/TC190部会(土壌環境センター)

S2-26 土壌・地下水汚染浄化に係るサステナビリティ評価ーそのフレームワークと海外動向ー

○張 銘(独立行政法人産業技術総合研究所)

発表番号 **セッション3 6月13日 口頭発表 15:40~17:00**

S3-01 鉄粉と活性剤の混合による重金属浄化の検討

○飯島勝之・吉川英一郎・古田智之(㈱神戸製鋼所)

S3-02 統計的手法を用いた土壌汚染の分布特性の評価

○當田紀賢(パナソニック環境エンジニアリング株式会社)

S3-03 多機能盛土による重金属浸出抑制効果に関する実証実験Ⅱ

○大石徹(日鉄住金環境㈱)・伊藤洋・門上希和夫(北九州市立大学)・安藤彰宣(旭化成ジオテック㈱)

S3-04 植物を用いた汚染土壌の環境修復に関する研究

○井上和幸・深山敏明・岡田真規子・橋本潤子(石川県保健環境センター)

S3-05 汚染封じ込めに利用できる変形追随性のある土質系遮水壁

○阿部和久・石田道彦・黒岩正夫(株式会社大林組エンジニアリング本部)・高橋真一・塩田耕三(株式会社大林組技術研究所)

S3-06 根吸水機能と不溶化資材を利用した重金属汚染土のファイトレメディエーション

○加藤雅彦・橋本一輝・佐藤健(岐阜大学工学部社会基盤工学科)

S3-07 妨害物質共存下での高濃度シアンの迅速測定法の検討

○河野麻衣子・河合達司・川端淳一(鹿島建設株式会社)

S3-08 土壌中のカドミウムの生物利用可能量と溶出特性に関する基礎的検討

○保高徹生・小野恭子(産業技術総合研究所)・柳澤幸成・中森泰三(横浜国立大学)・藤井芳一(人間環境大学)・神谷貴文(静岡環衛研)

S3-09 ミズにおける遺伝子発現を指標とした土壌中カドミウムの曝露評価

○柳澤幸成・Libo Hou・中森泰三(横浜国立大学大学院)・藤井芳一(人間環境大学)・神谷貴文(静岡環衛研)・保高徹生(産総研)

S3-10 ウォータージェット技術を用いた難透水性汚染土壌の原位置バイオ浄化

○山野辺純一・上沢進・吉川美穂(ケミカルグラウト株式会社)・Ann Borden・Meichin Yeh(EOS Remediation, LLC)

S3-11 嫌気性バイオレメディエーションにおける温度の影響

○横山圭一・三浦英俊・佐野絵里香・山野賢一(ジオテクノス株式会社)

S3-12 東京湾海水から分離した鉍物油分解菌のVOCに対する好気微生物分解について

○佐藤徹朗(国際環境ソリューションズ株式会社)・鈴木誠治・今田千秋(東京海洋大学大学院)

S3-13 大規模浄化サイトにおけるバイオスティミュレーションの一事例

○塩尻大輔・北詰昌義・飯野浩成(株式会社フジタ)

- S3-14 塩素系VOC汚染土壌対策におけるサステナブルアプローチの試適用一ケーススタディ(1)  
○古川靖英(竹中工務店 技術研究所)・保高徹生(産業技術総合研究所)・大村啓介(竹中土木)・小林剛(横浜国立大学大学院 環境情報研究院)
- S3-15 過酸化水素による油汚染土壌の酸化分解  
○中川勇樹(日立建機株)・須藤孝一・井上千弘(東北大学大学院環境科学研究科)
- S3-16 沖縄県内粘土質土壌を用いた模擬油汚染土壌のバイオフィル実証実験  
○土路生修三(株式会社熊谷組)・金城和哉(南洋土建株式会社)・門倉伸行・佐々木静郎(株式会社熊谷組)・松宮芳樹・久保幹(立命館大学生命科学部)
- S3-17 米国スーパーファンド原位置化学的酸化の成功事例 活性化した過硫酸ナトリウム浄化とフェントン浄化の比較  
○Fayaz Lakhwala・Philip Block(米国FMC Environmental Solutions.)・茅野徹(米国Pacific Rim Services(PRS))
- S3-18 放射性物質を含む廃棄物の封じ込めを想定した ジオシンセティッククレイライナーの適用性評価  
○木村文昭・Naka Angelica(京都大学大学院地球環境学舎)・乾 徹・高井敦史・勝見武(京都大学大学院地球環境学舎)
- S3-19 雑草繁茂域における植物体および表層土の効率的な除染および減容化方法  
○高畑陽・根岸昌範・屋柵下亮・斎藤祐二(大成建設株 技術センター)
- S3-20 放射性物質汚染廃棄物のプレキャストコンクリート製仮置保管施設の開発と展開  
○清水健夫・橘修・大久保英也(汚染廃棄物仮置保管施設研究会)
- S3-21 粒子形状・粒径・締固め度の違いが土壌の間隙構造および物質輸送係数に与える影響  
○小池拓也・濱本昌一郎・川本健・小松登志子(埼玉大学大学院理工学研究科)・榊利博(National Cooperative for the Disposal of Radioactive Waste)
- S3-22 1,4-ジオキサン汚染地下水の原位置通水洗浄処理の検討  
○大島義徳(株大林組)・松井稜太郎・椎葉究(東京電機大学理工学部)
- S3-23 土壌汚染区域における基礎杭の施工方法  
○牧田晃介・沼田茂己(旭化成建材株式会社)
- S3-24 散乱型中性子水分計による地下水のホウ素濃度測定  
○鈴木聡彦・吉村 貢(ソイルアンドロックエンジニアリング株)・中井健二・佐藤 宏(株セレス)・下垣 久(いであ株)
- S3-25 土壌サンプリングに関する ISO規格の新しい体系への変更の動き  
○中島誠・平田桂・角田真之・保賀康史・松村光夫・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S3-26 画像処理と空間モーメント法を応用した溶質のマクロ分散推定  
○藤原隆之・井上一哉・田中勉(神戸大学大学院農学研究科)

発表番号 セッション4 6月14日 口頭発表 09:30~10:45

- S4-01 各種粘土鉱物に対する有害カチオンの吸着容量の解析  
○大橋優子(応用地質株式会社)・亀屋隆志・小林剛(横浜国立大学大学院環境情報研究院)・沼野浩祐(応用地質株式会社)
- S4-02 地下水温変化が地下水質に与える影響  
○植木崇・立石佳祐・斉藤健志・濱本昌一郎・川本健・小松登志子(埼玉大学 大学院 理工学研究科)

- S4-03 ファンネルガラスにおける鉛の溶出に関する基礎実験  
○山田百合子・伊藤洋・片山慎介(北九州市立大学国際環境工学部)・河村豊(西日本ガラスリサイクルセンター)・大石徹(日鉄住金環境)
- S4-04 酸化マグネシウムによる鉛汚染土壌の不溶化に関する研究  
○藤井啓史・田坂行雄・中田英喜(宇部興産(株))・中村哲・鈴木祐麻・新苗正和(山口大学)
- S4-05 カヤツリグサ科ハリイ属チャボイによる重金属汚染のファイトレメディエーションに関する基礎的研究  
○榊原正幸(愛媛大学大学院理工学研究科)・向井董(愛媛大学理学部)・佐藤康(愛媛大学大学院理工学研究科)・佐野栄(愛媛大学教育学部)
- S4-06 アパタイトと含鉄資材の併用による陽・陰イオン重金属類の同時不溶化  
○小川翔平(岐阜大学大学院工学研究科)・加藤雅彦・佐藤健(岐阜大学工学部)
- S4-07 微細な酸化鉄粒子の地盤注入による汚染拡散防止手法の検討  
○西田憲司・三浦俊彦(株式会社大林組)・平井恭正・土光政伸・森田一太(石原産業株式会社)・日笠山徹巳(株式会社大林組)
- S4-08 発光細菌を用いたバイオアッセイによる土壌汚染評価手法の開発 ―土壌汚染対策法・第二種特定有害物質に関する急性毒性評価―  
○杉田創・駒井武・井本由香利(独立行政法人産業技術総合研究所)
- S4-09 土の摂取による人体暴露のアセスメント(ISO/TS17924)の紹介 ―人体に対するバイオアクセシビリティ・バイオアベイラビリティ評価のための物理的溶出法の選択・応用ガイドライン―  
○吉野満昭・松村光夫・平田桂・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S4-10 大気降下起源の汚染土壌の有害金属溶出量と含有量  
○丸茂克美(富山大院理工)・和田信彦・岡野秀樹(㈱アステック東京)・小野木有佳(産総研地質情報研究部門)
- S4-11 土壌・地下水汚染による人への健康リスクに関する解析的検討  
○杉浦佳樹・新谷剛(パナソニック環境エンジニアリング株式会社)
- S4-12 塩素化エチレン分解能を有する嫌気性微生物群の大量培養  
○奥津徳也・田村渉・石田浩昭・上野俊洋(栗田工業株式会社)
- S4-13 ジクロロメタン汚染現場の対策事例  
○椎根大・高橋真子・星純也(公益社団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)・河合春生・鈴木達彦(成和リニューアルワークス株式会社)・上野孝司(公益社団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)
- S4-14 電気加温法における土壌加温シミュレーション  
○湯浅善仁・永棹航太・井上藤男・三重野俊彦・長曾哲夫(株式会社島津製作所)
- S4-15 浄化用鉄粉の脱塩素反応持続性評価及び反応性回復手法の検討  
○岩崎広江・根岸昌範・樋口雄一(大成建設株式会社)
- S4-16 沖縄県内土壌を用いた基地跡地における油汚染土壌のバイオ処理技術開発  
○金城和哉・仲村紳(南洋土建)・門倉伸行・佐々木静郎(熊谷組技術研究所)・村田均・川口博史(テクノス)
- S4-17 シバ等を用いたファイトレメディエーションの活用  
○川島一郎・米島徹弥・高草木基生(JX日鉱日石エネルギー)・日下部友昭・植田直人・大志万浩一(住友林業)
- S4-18 微細気泡を利用した原位置浄化技術の検討(その3)  
○稲田ゆかり・藤城春雄(清水建設(株)エンジニアリング事業本部 土壌環境事業部)
- S4-19 酸化マグネシウム系材料使用した表土削り取り工の適用事例  
○松山祐介・守屋政彦・杉山彰徳(太平洋セメント株式会社)

S4-20 放射性セシウム含有土壌の処理について

○友口勝・早澤敬一(ジオテクノス(株))・渡邊亮栄・鎌田雅美(DOWAエコシステム(株))

S4-21 空間線量率計測における調査地点ナビゲーションシステムの開発

○岡本修(茨城工業高等専門学校)・三浦光通・高橋徹(環境研究センター)

S4-22 1,4-ジオキサンによる土壌・地下水に対する調査・対策について(その1)

○伊藤哲緒・窪田成紀・大庭良宣・立野久美・佐藤徹朗(国際環境ソリューションズ株式会社)

S4-23 地下水の硝酸汚染軽減に向けた農業副産物と食品残渣の利用に関する実験的検討

○松山紗希・井上一哉・田中勉(神戸大学大学院農学研究科)

S4-24 「持続可能な修復 -Sustainable Remediation -」に関する諸外国の取り組み

○王寧(株式会社環境管理センター)・田澤龍三(清水建設株式会社)・Richard Raymond, JR. (Terra systems Inc. USA)・茅野徹(米国パシフィック・リム・サービス)

S4-25 土壌汚染対策コンソーシアムの活動内容について

○奥村正孝(土壌汚染対策コンソーシアム)・平田健正(土壌汚染対策コンソーシアム・和歌山大学)・福永勲・吉川克彦・飯田哲也(土壌汚染対策コンソーシアム)

発表番号 **セッション5 6月14日 口頭発表 13:15~14:30**

S5-01 統計的手法を用いた土壌汚染絞込み調査方法の一考察

○前田健太郎・鈴木圭一・新谷剛(パナソニック環境エンジニアリング株式会社)

S5-02 カルシウム/マグネシウム系複合材料による重金属類不溶化メカニズムの解明

○板谷裕輝・菊池定人・吉松勉・國西健史(住友大阪セメント(株))

S5-03 砒素汚染土壌の不溶化材処理及び植物生長における砒素の挙動

○平井恭正・今村敏(石原産業株式会社)

S5-04 注水バイオスパーミング工法の揚水・注水性能

○大石力・高畑陽・松尾寿峰(大成建設株式会社)

S5-05 不溶化技術における不溶態形成と土壌水分条件との関係解明

○津田健一郎・加藤雅彦・佐藤健(岐阜大学工学部社会基盤工学科)

S5-06 透過性地下水浄化壁用吸着剤によるふっ素の除去挙動

○篠原隆明・岩崎守(栗田工業株式会社 開発本部)

S5-07 汚染土の含水状態が水銀揮発量におよぼす影響の検討

○黒木泰貴・日笠山徹巳・井出一貴・三浦俊彦(株式会社大林組)

S5-08 鉄粉を用いる水田土壌からの重金属除去過程の解析

○志村侑紀・古村知大(筑波大院数理物質)・酒井勝(CORDA)・中谷清治(筑波大数理物質)

S5-09 石油系炭化水素汚染土壌によるリスクの評価に関する ISO規格化の動き

○中島誠・王寧(土壌環境センター)・保高徹生(産業技術総合研究所)・ISO/TC190部会(土壌環境センター)

S5-10 熱力学連成解析システムによる六価クロム汚染土のセメント不溶化・溶出過程の解析

○高橋佑弥・石田哲也(東京大学大学院工学系研究科)

- S5-11 石炭灰に含まれる水溶性有害元素の固定化  
○小川泰正・井上千弘・須藤孝一・榊原健人(東北大学 環境学研究所)
- S5-12 地下水汚染の長期モニタリング(4)  
○渡辺正子
- S5-13 VOC汚染サイトにおける土壌加温による原位置浄化対策への影響について(その1)  
○佐藤徹朗・瀬野光太(国際環境ソリューションズ株式会社)・三重野俊彦・長曾哲夫(株式会社島津製作所)
- S5-14 過硫酸塩と廃棄物中の有機酸を用いたVOC分解  
○晴山渉・山上貴弘・中澤廣(岩手大学工学部)
- S5-15 バイオレメディエーションにおける物質移行の意義と促進技術  
○張 銘(独立行政法人産業技術総合研究所)・吉川美穂(ケミカルグラウト株式会社)・竹内美緒・駒井武(独立行政法人産業技術総合研究所)
- S5-16 有機資材を活用した油汚染土壌のバイオレメディエーション(経過報告)  
○河目裕介・吉田和生・川越大樹・久保田謙三(大和ハウス工業)・福原優樹・久保幹(立命館大学生命科学部)
- S5-17 沖縄県内土壌を用いた模擬汚染土壌の石油系炭化水素の生物分解特性  
○村上順也(熊谷組 技術研究所)・金城和哉(南洋土建)・門倉伸行・土路生修三(熊谷組 技術研究所)・松宮芳樹・久保 幹(立命館大学)
- S5-18 アルカリで活性化した過硫酸ナトリウムを使い地中に閉じこめられた汚染物(全石油炭化水素:TPH)を最適に原位置化学的酸化浄化した米国の事例  
○Doug Carvel P.E (MECx, LP, USA)・茅野徹(米国Pacific Rim Services)
- S5-19 多機能盛土による放射性物質汚染汚泥の放射線遮蔽実証実験(Ⅱ)  
○宮崎照美(日鉄住金環境)・伊藤洋(北九州市立大学)・大石徹(日鉄住金環境)・安藤彰宣(旭化成ジオテック)・上野崇(草野産業)・加藤隆也(NPO法人環境技術支援ネットワーク)
- S5-20 土壌洗浄を用いた放射性 Cs汚染土壌の減容化と濃縮残渣処理の自動化について  
○毛利光男・土田充・馬場直紀・保坂幸一・中嶋卓磨(清水建設株式会社エンジニアリング事業本部土壌環境事業部)
- S5-21 FDEMによる埋設廃棄物探査手法の検討について  
○青木健二・渡部高広・片山辰雄(株環境総合テクノス)・石井一英・古市徹(北海道大学)
- S5-22 温度変化が地盤内の溶質分散特性に与える影響  
○有原萌恵(埼玉大学大学院理工学研究科)・濱本昌一郎・川本健・小松登志子(埼玉大学大学院理工学研究科)・埼玉大学環境科学研究センター)
- S5-23 酸化亜鉛を主成分とした溶解ダストを用いた下水汚泥の硫化水素発生抑制  
○三宅潤・深谷昌志(株式会社ケー・イー・シー)・武下俊宏(福岡大学)・伊藤洋(北九州市立大学)
- S5-24 土壌・地下水汚染の措置・対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(平成23年度実態調査)  
○保賀康史・古市登・加洲教雄・青木陽士・技術実態調査検討部会(土壌環境センター)
- S5-25 1,4-ジオキサン土壌中挙動と水浸透を考慮した予測モデル  
○森一星・渋沢麻衣・小林剛(横浜国立大学大学院環境情報学府/研究院)・高橋ゆかり(横浜国立大学大学院環境情報学府/研究院)・富山国際大学現代社会学部)・亀屋隆志・藤江幸一(横浜国立大学大学院環境情報学府/研究院)



発表番号 セッション6 6月14日 口頭発表 15:20~16:35

- S6-01 自然由来汚染土壌における鉛の存在形態の解析  
○星野美保子・張 銘・鈴木正哉・月村勝宏 (独)産業技術総合研究所)・大田昌昭・秋田憲 (株島津製作所)
- S6-02 pH変動が不溶化処理土壌の溶出に与える影響について  
○高橋真子・椎根大・星純也・上野孝司 (公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)
- S6-03 吸着層工法による重金属対策工事に関する考察  
○野崎史隆・清水裕 (岡本興業株式会社 土壌環境チーム)・伊藤健一 (宮崎大学国際連携センター)
- S6-04 鉛・砒素汚染土の各種不溶化材による不溶化特性・機構の基礎的検討  
○乾徹 (京都大学大学院地球環境学堂)・Juan Carlos Bobea Rivas (元京都大学大学院修士課程)・勝見武・高井敦史 (京都大学大学院地球環境学堂)・菊池定人・國西健史 (住友大阪セメント)
- S6-05 鉄粉を用いた砒素汚染土壌の洗浄方法  
○三浦俊彦・高田尚哉・石井芳明・中村哲・足立邦靖・日笠山徹巳 (株式会社大林組)
- S6-06 自然由来砒素汚染土の前処理の迅速化の検討(予察)  
○熱田真一・山田理映子・三原洋一・糸永眞吾 (株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング)
- S6-07 鉛の土壌溶出量への塩濃度の影響の解析と津波堆積物中での挙動  
○高橋ゆかり (横浜国立大学大学院研究院・富山国際大学現代社会学部)・久保寺良光・佐藤全倫 (横浜国立大学大学院環境情報学府)・劉予宇 (東北大学環境科学研究科)・小林剛・亀屋隆志 (横浜国立大学大学院研究院)
- S6-08 仙台平野地域における津波堆積物の土壌汚染リスク評価  
○原淳子・川辺能成・澤井祐樹・田村亨 (産業技術総合研究所)
- S6-09 土壌汚染の暴露評価に関する ISO規格化の動き  
○保高徹生 (産業技術総合研究所)・中島 誠・ISO/TC190部会 (土壌環境センター)
- S6-10 ダイレクトプッシュテクノロジーによる 3次元的な汚染の把握と浄化設計への活用  
○小林裕一・安原雅子 (株アイ・エス・ソリューション)・佐藤秀之 (株ランドコンシェルジュ)
- S6-11 VOC地下水汚染源への超徐放性栄養材の適用事例(その2)  
○竹崎聡・西田憲司 (株大林組エンジニアリング本部)・緒方浩基 (株大林組技術研究所)・日笠山徹巳 (株大林組エンジニアリング本部)
- S6-12 微生物によるcis-DCEの酸化分解条件の検討  
○吉川美穂 (ケミカルグラウト株式会社)・竹内美緒・張 銘・駒井 武 (独立行政法人 産業技術総合研究所)
- S6-13 オゾンマイクロバブルによる地下水浄化工法の適用事例(その2)  
○長谷川展男・小山真樹・高木一成 (地盤環境エンジニアリング(株))
- S6-14 バイオスティミュレーションに係る単孔実証試験方法  
○鈴木圭一・清水泰貴・安藤卓也 (パナソニック環境エンジニアリング株式会社)
- S6-15 サイト環境リスク評価モデルSERAMのツールの開発と活用方法  
○奥田信康・佐々木哲男・リスク評価モデル普及・ツール化検討部会 (土壌環境センター)
- S6-16 機械油汚染地盤SEARにおけるバイオレメディエーションの活用  
○棚橋秀行・寺田曉彦・佐野豊生・清宮崇寛 (大同大学工学部)
- S6-17 ガソリン汚染土に対する過硫酸塩を用いた化学的酸化処理  
○吉浪賢史・田中宏幸・川西順次・松久裕之・保賀康史 (株鴻池組)

S6-18 油汚染土壌の原位置洗浄工法に関する室内試験

○片岡昌裕・大橋貴史・伊藤紀与人・渡辺徹 (株式会社 NIPPO 技術開発部 技術開発第二グループ)

S6-19 カヤツリグサ科ハライ属マツバイのCs吸収能力に関する基礎的研究

○竹原明成・榊原正幸 (愛媛大学院理工)・佐野栄 (愛媛大学教育)

S6-20 放射性セシウム含有土壌の原位置湿式分級洗浄・磨洗効果について

○田中真弓・川端淳一・大塚誠治・河合達司・小澤一喜 (鹿島建設)

S6-21 有機系除染除去物の減容化に関する室内試験

○根岸昌範・山本哲史・高畑陽・斎藤祐二 (大成建設株式会社 技術センター)

S6-22 食品を考慮した放射性物質による土壌汚染のリスク評価

○藤長愛一郎 (大阪産業大学工学部)・米田稔 (京都大学工学研究科)・池上麻衣子 (京都大学原子炉実験所)

S6-23 東日本大震災で発生した分別土の地盤材料としての有効利用

○大嶺聖・杉本知史・幸 諭志・中川雄介 (長崎大学工学部)・山脇敦 (産業廃棄物処理事業振興財団)

S6-24 多環芳香族炭化水素のオゾン酸化分解

○早澤敬一・友口勝 (ジオテクノス株式会社)

S6-25 ヒト健康の保護を目的とした土壌基準の、土壌生態系に対する影響評価への適用の可能性と限界

○長谷恵美子 (株式会社住化分析センター)・明治大学大学院理工学研究科)・大悟法弘充 (株式会社住化分析センター)・北野大 (明治大学大学院理工学研究科)